

令和元年度

がんピアサポーター養成講座

開催報告

実施日：令和元年10月19日（土）～20日（日）

【名 称】 令和元年度 がんピアサポーター養成講座

【目 的】 ①これから「ピアサポート」を始める方が、1対1での対応に関する基本的な事項を学ぶ
②受講生同士に仲間意識を持たせ、今後のセンター及び個々の活動が互いに連携できる環境をつくる

【概 要】

1. 日 時 令和元年 10月19日（土）10：00～17：00
20日（日）10：00～17：00
2. 場 所 琉球大学医学部附属病院 大学院セミナー室
3. 対 象 下記①～④すべてに該当する方
①がん患者およびがん患者のご家族、ご遺族
②最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方
③全日程参加できる方
④受講後、治療や仕事や生活に支障がない範囲で当センターの登録がんピアサポーターとして活動できる方
4. 主 催 沖縄県地域統括相談支援センター（令和元年度 沖縄県委託事業）
5. 共 催 琉球大学医学部附属病院がんセンター
6. 参加費 無料

※ 公益財団法人 日本対がん協会作成
「平成24年度 厚生労働省委託事業
がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業」
研修テキスト がんピアサポーター編
～これからピアサポートをはじめる人へ～ 使用

※ 「平成30年度 厚生労働省委託事業
がん総合相談に携わる者に対する研修事業」
ピア養成研修ワーキンググループ作成版テキスト 使用

【プログラム別内容】

自己紹介

- ・アイスブレーキングとして行うことで、受講生が互いを知ることができる。

ピアサポートとは

- ・ピアサポートの定義、重要性、意義、活動内容や活動場所などを学ぶ。
- ・自分の意見を押し付けない、個人情報を守る、医療行為に踏み込まないなどのピアサポートを行うにあたって、最低限知っておいてほしいことや、必ず守ってほしいことを学ぶ。

自分の体験を語る

- ・ピアサポート時に自身のことを話す場合もあることから、自己の体験を語れるように整理する。
- ・他の受講生が語っている内容を聴くことで傾聴を学ぶ。

がんの基礎知識

- ・相談者の話を聴く際に知っておくと役に立つ医学的知識を学ぶ。
- ・がん診療の流れ、がんの基本的知識（検査法、治療法、治療後の留意点など）、がん治療（手術、放射線、薬物）、補完代替医療についてなど。

緩和医療について

- ・がんに伴って起きるさまざまなつらさを和らげるためのケアとして正しい知識を学ぶ。

精神腫瘍学について

- ・がん患者のこころの動きと対応の辞めどき、専門家への紹介の仕方などを学ぶ。

より良いコミュニケーションのために

- ・服装や言葉使いなど接遇の基本的なことから、話しやすい雰囲気作り、相談者の目線や表情、仕草から読み取れることや、「あいづち」と「繰り返し」の効果を学ぶ。

ロールプレイ

- ・2日間で学んだことを実習で試し、フィードバックにより良い面も悪い面も全員で情報共有することで個々の対応に活かす。

【プログラム】 1 日目 (10/19)

開始	終了	時間	内 容	講師・担当者
10:00	10:05	5 分	諸注意事項等の説明	
10:00	10:10	5 分	開講のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
10:10	10:15	5 分	受講生紹介	
10:15	11:35	80 分	講義 ・ピアサポートとは	NPO法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様
11:35	11:40	5 分	休憩	
11:40	12:30	50 分	講義 がんの基礎知識①	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
12:30	13:20	50 分	お昼休憩	
13:20	14:20	60 分	講義 緩和医療について	国立病院機構 沖縄病院 副院長 大湾勤子 先生
14:20	14:30	10 分	休憩	
14:30	15:30	60 分	講義 精神腫瘍学	沖縄県立精和病院 心療内科 副部長 川田聡 先生
15:30	15:40	10 分	休憩	
15:40	16:40	60 分	ワークショップ 「体験を語る」	講師 NPO法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様
16:40	16:50	10 分	アンケート記入	
16:50	17:00	10 分	片付け	

2日目 (10/20)

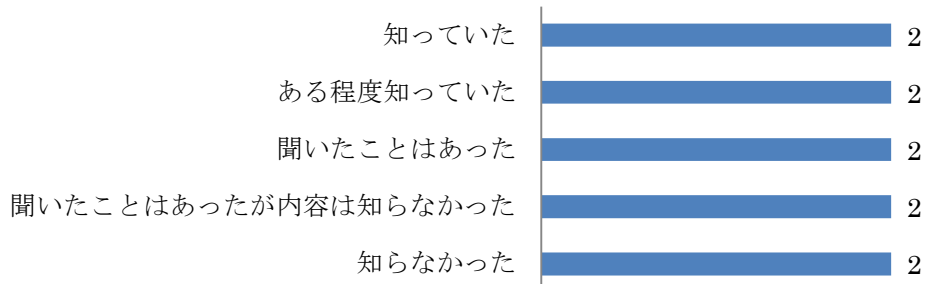
開始	終了	時間	内 容	講師・担当者
9:55	9:58	3分	諸注意事項等の説明	
9:58	10:03	5分	はじめのあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
10:03	11:00	57分	講義 がんの基礎知識②	
11:00	11:10	10分	休憩	
11:10	12:10	60分	講義 より良いコミュニケーションのために	NPO法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様
12:10	13:20	70分	お昼休憩	
12:30	13:10	40分	ロールプレイ打ち合わせ	スタッフ全員
13:20	13:40	20分	ロールプレイの講義・実演	講師 NPO法人支えあう会「α」 副理事長 野田真由美 様
13:40	14:40	60分	ロールプレイ①	
14:40	15:00	20分	ロールプレイ①振り返り	
15:00	15:10	10分	休憩	
15:10	16:10	60分	ロールプレイ②	
16:10	16:30	20分	ロールプレイ②振り返り	
16:30	16:40	10分	アンケート記入	
16:40	16:45	5分	修了書授与	沖縄県地域統括相談支援センター センター長 増田昌人
16:45	16:50	5分	閉講のあいさつ	
16:50	16:52	2分	写真撮影	
16:52	17:30	38分	片付け、終了	スタッフ全員

【アンケート集計結果／回答者 10 名】

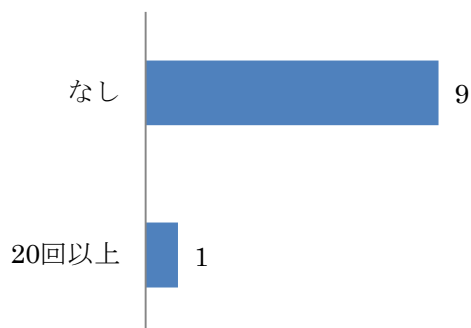
Q 1. 養成講座に参加したきっかけ

- ・自分の体験を活かして、同じがん患者やその家族の少しでも力になりたい、何か手助けができればと思ったから。
- ・私自身、がん体験者のお話を聞いたことで前向きになれたので、今度はお返ししたいと思ったから。
- ・がん患者に対する病院職員の声掛けや接し方を見て、自分にも何かできないか、また自分のためにもなると思ったから。
- ・家族ががんになったことで、少しでも知識を得たいと思ったから。
- ・以前、ボランティア養成講座を受けたが、今回ピアサポーター養成講座も受けることにより知識や理解を深め、さらに多くの方の支援ができると考えたから。
- ・医療者だが、自分のがんになったことで同じ立場として患者さんの心のケアができるのではと思ったから。

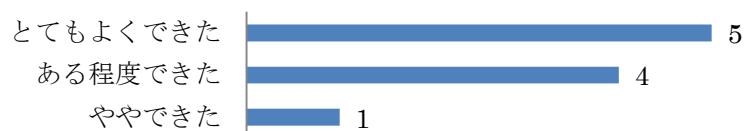
Q2.ピアサポート活動（またはピアサポーター）を知っていたか



Q3.ピアサポート歴

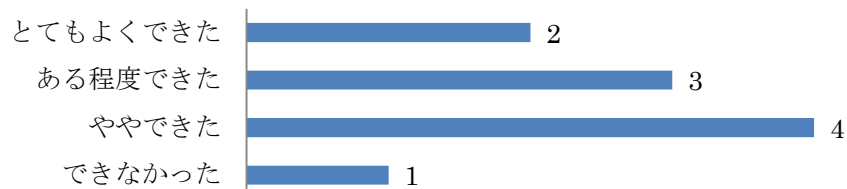


Q 4. 1日目の講義内容は理解できたか



- ・初めて聞く言葉や勘違いしていた部分も含めて、改めて本当の意味を知ることができた。
- ・やはり、スマホやネットで調べたのとは違うので聞き入った。
- ・スライドやお話も分かり易く説明してくれ、理解できた。

Q 5. 「自分の体験を語る」では、自分なりに語れたか



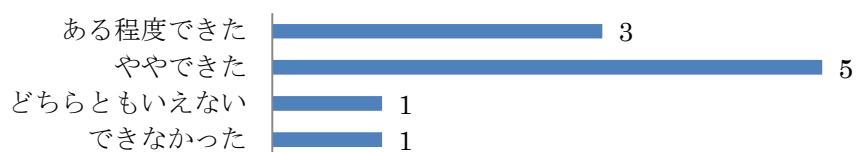
- ・頭が真っ白になり、伝えたいことの半分もお話しできなかった。
- ・時間内にまとめることが難しかった。
- ・今まで人前で体験談を語ることはなかなかできなかったが、意外に冷静にできた。

Q 6. 2日目の講義内容は理解できたか



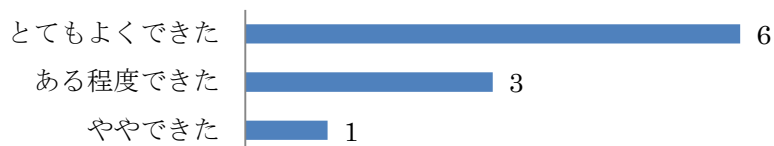
- ・離島事情など、がんに関する情報を知ることができた。
- ・コミュニケーションのとり方が分かり易く説明されていた。
- ・カウンセラーの勉強もしたことがあるが、共通する部分も感じつつピアサポーターとの違いがとてもよく分かった。

Q7. ロールプレイでは自分なりにできたか



- どの役も実際にやってみると難しかった。
- 目の前に利用者がいると、無責任なことは言えないと言葉に詰まってしまった。
- 「聴く」「待つ」ことが難しく、間が空くと焦ってしまった。

Q8. ピアサポート活動について理解できたか



- どの役も実際にやってみると難しかった。
- 目の前に利用者がいると、無責任なことは言えないと言葉に詰まってしまった。
- 「聴く」「待つ」ことが難しく、間が空くと焦ってしまった。

Q9. ピアサポーターとして活動する上で不安はあるか



- 利用者の気持ちを受け止められるか。
- 気持ちだけでなく、言葉で相手に伝えることができるか。
- ピアサポートしているつもりでも、自分の考えを押しつけたり余計なことを話したりしないか。

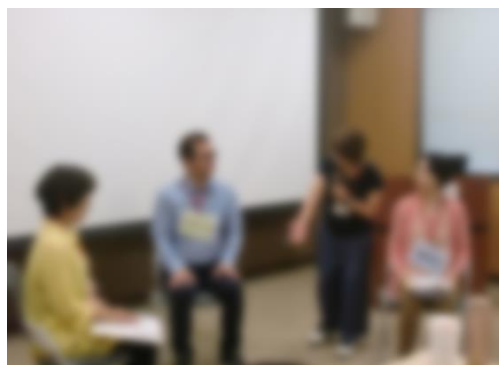
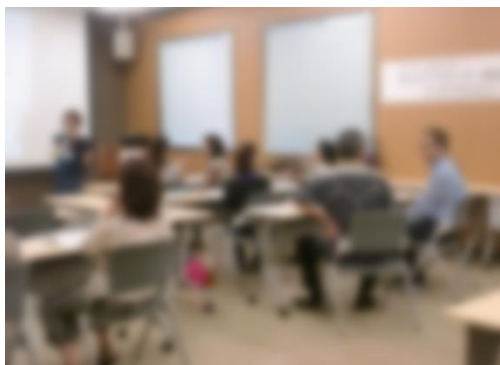
Q11. どのようなフォロー体制があるといいか

- ・対応に戸惑ったとき、すぐにフォローしてもらえるよう、1人ではなく2~3人でのピアサポートが望ましい。
- ・病院や地域との連携があると心強い。
- ・定期的な勉強会、懇親会があればいい。

Q12. ご意見・ご感想

- ・仲間ができただけでなく、その仲間がいたから2日間頑張れた。
- ・自分の体験に知識が加わってこそピアサポートに活かされると思った。
- ・同じ境遇の方に教えてあげたい。もっとピアサポーターが増えてほしいと思った。
- ・医療従事者が理解してくれると、もっと輪が広がるのでは。
- ・実践となると不安は残るが、ピアサポートの意義を知ることができよかった。
- ・相手だけでなく自分にも向き合いながら、ピアサポーターとして頑張っていこうと思った。

【当日の様子】



【案内】

**令和元年度
がんピアサポーター
養成講座**

「ピア」とは「仲間」という意味です。「ピアサポーター」は、**がんという病気を体験した方やそのご家族が仲間（ピア）として「体験を共有し、ともに考える」同じ立場で暮らしたり体験をお話することで、がん患者やその家族を支援する活動のことです。「ピアサポーター」を行う人は「ピアサポーター」といいます。あなたの体験を活かしてみませんか？**

日時	令和元年10月19日(土) 10:00~17:00 10月20日(日) 10:00~17:00 全2日開催
会場	琉球大学医学部附属病院 大学院セミナー室
受講条件	① がん患者およびがん患者のご家族またはご遺族の方 ② 最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方 ③ 全日程（2日間）参加できる方 ④ 受講後、治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターの登録がんピアサポーター（ボランティア）として活動できる方
定員	10名 *定員になり次第締め切りとさせていただきます。
受講料	無料
申込方法	申込用紙にご記入のうえ、お電話、FAX、電子メール、郵送または直接 当センターまでお持ちください。
申込締切	令和元年9月25日(水) 必着

主催 / 沖縄県地域統括相談支援センター（令和元年度 沖縄県委託事業）
*研修内容については裏面をご覧ください =>

**令和元年度
がんピアサポーター
養成講座 受講生募集！**

	時間	内容
1日目 10月19日(土)	9:30~受付 10:00~17:00 (途中休憩あり)	講義 ・ピアサポーターとは何か？ ・がんの基礎知識 ・緩和医療について ・精神看護学 アイスブレイキング ワークショップ ・自分の体験を語る
2日目 10月20日(日)	9:30~受付 10:00~17:00 (途中休憩あり)	講義 ・がん情報について ・知っておくと良い情報 ・より良い3:1:3のために ロールプレイ ・模擬、実演 ・振り返り

*受講参加者には、当センターより後日参加決定通知書を送付いたします。
*全日程を受講した際、修了証をお渡ししますが資格として認定されるものではありません。
*講座終了後、治療や仕事、生活に支障がない範囲で、当センター登録のがんピアサポーターとして活動に参加していただきます。

【お問い合わせ】
沖縄県地域統括相談支援センター
(がんピアサポーター相談室)
〒903-0215
西原町字上原207番地
琉球大学医学部附属病院 3階
TEL 098-942-3407
FAX 098-942-3408
メールアドレス
info@gansoudan-okinawa.jp

▲チラシ表面

21面から あまくまほ情報局 19面へ

がん患者やご家族の悩みを解決する「ピアサポーター」養成講座。体験者同士の交流を通じて、がんという病気を共有し、ともに考える機会を提供します。

受講生募集

① がん患者およびがん患者のご家族またはご遺族の方
② 最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方
③ 全日程（2日間）参加できる方
④ 受講後、治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターの登録がんピアサポーター（ボランティア）として活動できる方

申込用紙にご記入のうえ、お電話、FAX、電子メール、郵送または直接 当センターまでお持ちください。

申込締切：令和元年9月25日(水) 必着

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

▲チラシ裏面

がん患者やご家族の悩みを解決する「ピアサポーター」養成講座。体験者同士の交流を通じて、がんという病気を共有し、ともに考える機会を提供します。

受講生募集

① がん患者およびがん患者のご家族またはご遺族の方
② 最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方
③ 全日程（2日間）参加できる方
④ 受講後、治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターの登録がんピアサポーター（ボランティア）として活動できる方

申込用紙にご記入のうえ、お電話、FAX、電子メール、郵送または直接 当センターまでお持ちください。

申込締切：令和元年9月25日(水) 必着

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

▲令和元年8月29日(木)付
琉球新報/レキオ

▲令和元年8月29日(木)付
沖縄タイムス/ほ一むぷらざ